

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名	児童デイサービス ほーぷふる
------	----------------

公表日 令和7年2月27日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	1	・実際の日常生活における自立を促すため、極力構造化を避け子どもたち自身が困った時にどうするか？を体得できるよう支援しております	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		・支援終了後に清掃し、毎日ドアノブや玩具、床等事業所内を消毒し清潔を保つよう心掛けている	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		・個室は無いが、静かに過ごす場所と皆で遊ぶ場所の空間が分けられている	
	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5		・日々のミーティングにおいて各職員で子どもたち個々の課題に応じ、多角的な意見を出し合っている ・課題があれば、翌日のミーティングにて振り返りを行い、業務の改善に努めている	

業務改善	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		・ミーティングにおいて周知されている	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		・日々のミーティングにおいて議題に挙げ意見を出し合い、改善に努めている	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		4		・どういう時に第三者委員会が評価するのかわからない ・感染症や個人情報との兼ね合いもあり実施していない
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		・必要に応じて実施している ・研修や講習のお知らせ等も周知、案内される ・強度行動障害支援者研修の参取得済	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5			
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5		・日々のミーティングにおいて意見を出し合い、課題の分析、目標設定、方法の検討を行っている ・期日に限らず、子どもや保護者様の以降や課題を把握するよう努め、支援計画に反映している	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		・日々のミーティングにおいて職員を含め話し合い、情報を共有し、支援の方向性について検討している ・ミーティングを通して多角的な視点から子どもたち個々の課題を考え意見を出し合い支援計画の作成を行っている	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		・ミーティングにて共有 ・ミーティングを通して周知し、支援に係る職員が共通理解できるよう心掛けている	

15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ツールだけではなく、子どもたちの日々の行動観察から把握している</li> <li>・ツールを確認する</li> <li>・フォーマルアセスメントシートはフェイスシートやアセスメントシートを活用し、インフォーマルアセスメントは日々のミーティングにて適宜行っている</li> </ul>	・アセスメントシートを確認していない職員には確認するよう声をかけていきたい
16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5			・5領域とガイドラインのねらいが合致するような支援計画を立てるよう努めてます
17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5			
18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5			
19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5		・子どもたちの状況、課題に合わせて個々と集団を組み合わせた計画を作成し、支援している	
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		・毎日綿密なミーティングを行っている	
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	2	・支援終了後は緊急性の高い事案のみ実施し、周知事項に関しては翌日のミーティングに於いて周知されている	
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		・記録する職員が固定化されないように連携し、様々な視点を通して支援記録されるようにしている	

23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		・期日に限らず、必要に応じて行っている	
24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ、支援を行っているか。	5		・地域交流の機会が少ないため公園遊びや公共機関への訪問を増やしていいと良い ・特に（ア）日常生活の充実と自立支援のための活動（エ）子どもが主体的に参画できる活動の二つを社会生活の基盤と捉え（イ）の支援を行っている	・保護者様の意向により、積極的に取り組めない事情を考慮しながら検討していきたい
25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5		・子どもの意思、意向を尊重するため本人からの発言を必ず『待つ』ようにしている。「本人がどうしたいか?」「事業所としてどう支援できるか?」を常に意識した支援を行っている	
26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		・基本的には児発管が参加している。機会があれば参加し、事業所間連携について学びを深めていきたい	
27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		・保護者様を通して連携をとっている ・必要に応じて連携できる体制を整えている	
28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5		・必要に応じて行っている	・学校の現状として、療育事業所に対し排他的に対応される学校があることも事実であり、保護者様の協力を仰ぎながら実施している

29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	1	<ul style="list-style-type: none"><li>・事例なし</li><li>・就学前に利用していた保育園、幼稚園との直接的なやり取りは少ないが、保護者様から話を伺い把握している</li><li>・就学先を通し情報収集を行っているが、必要があれば就学前の園などから情報を得るようにしていきたい</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・学校や園の現状として、療育事業所に対し排他的に対応される学校や園があることも事実であり、保護者様の協力を仰ぎながら実施して行きたい</li></ul>
30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2	2	<ul style="list-style-type: none"><li>・現在対象児童なし、今後情報提供できるよう支援内用の記録を整理しておく</li><li>・現在まで該当児がいなかったことから、福祉サービス事業書等への情報提供をしたことが無いが、今後必要に応じて柔軟に対応していきたい</li></ul>	
31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	2	<ul style="list-style-type: none"><li>・わからない1・未回答1</li><li>・センターなし</li><li>・感染症や個人情報守秘の観点から今は行ってないが、機会があれば実施し学びを深めていきたい</li></ul>	
32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	2	<ul style="list-style-type: none"><li>・公園遊びを通じ交流する機会を設けている</li><li>・感染症や個人情報守秘の観点から今は行ってないが、機会があれば実施し学びを深めていきたい</li></ul>	
33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	4		<ul style="list-style-type: none"><li>・案内があれば積極的に参加している</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・保護者様対応や、児相との面談などで欠席することもあるが、可能な限り出席するように努めている</li></ul>

34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・連絡帳にその日の出来事を記述したり、必要に応じて電話にてお伝えするよう心掛けている</li> <li>・デイでの様子のみだけでなく、園での様子や、家庭での様子を共有し、常に共通理解を持てるよう努めている</li> <li>・未回答1</li> </ul>	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要に応じて実施している。また、子育てサポート等を通して支援や対応のモデリングを行っている。</li> <li>・今年度未実施、要検討</li> <li>・未回答1</li> </ul>	
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見学や契約時に実施</li> <li>・内容に関する疑問等は速やかに対応するよう心掛けている</li> <li>・未回答1</li> </ul>	
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アセスメントやモニタリングをもとに、子ども自身や、保護者様の意思、意向を尊重した計画を作成するよう心掛けている</li> <li>・未回答1</li> </ul>	・個別支援計画に関する内容は各スタッフも周知できるよう努めていきたい
38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必ず行っている</li> <li>・未回答1</li> </ul>	・個別支援計画に関する内容は各スタッフも周知できるよう努めていきたい
39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・送迎時や電話等にて相談されることが多く情報提供や助言を行っている</li> <li>・必要に応じて家族支援を実施</li> <li>・定期的ではなく、その都度相談や不安に対して緩和できるよう努めている</li> <li>・未回答1</li> </ul>	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度未実施、要検討</li> <li>・今現在需要が無いため開催されていないが、今後意見などがあれば積極的に機会を設けたいと思う</li> <li>・感染症や、個人情報の兼ね合いから開催が難しい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所内の家族会において、開催できる場所の確保が難しく、感染予防の観点から実施が難しい</li> <li>・他事業所において、家族会に関するトラブル等も多く聞かれるため開催を躊躇してしまう</li> <li>・兄弟間の交流について、コロナの在宅支援の際にビデオ通話等を活用し実施していたが、現在該当者なし</li> </ul>
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>・速やかに管理者へ連絡、報告する等、迅速に対応する体制を整えている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在まで、保護者様からの相談への対応は実施しているが、苦情等は実績が無い。</li> <li>今後も苦情が無いように努めていきたい</li> </ul>
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SNSを活用し、活動の様子や連絡事項等を発信している</li> </ul>	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>・個々に応じた理解言語や認識力を考慮し、必要に応じたツールを使用する等、配慮を心掛けている</li> </ul>	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症や、個人情報の兼ね合い、保護者様の意向により開催が難しい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・心無い大人の言動に傷ついた保護者様や子どもたちもいるので慎重に考えていきたい</li> </ul>
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的に見直しや訓練を実施している</li> <li>・マニュアル等はいつでも確認できる場所に保管している</li> </ul>	
47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的に見直しや訓練を実施している</li> <li>・マニュアル等はいつでも確認できる場所に保管している</li> </ul>		



## 非常時等の対応

48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5		<ul style="list-style-type: none"><li>・現在該当者なし</li><li>・必要となった際は、いつでも対応できるよう体制を整えていく</li></ul>	
49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	1	<ul style="list-style-type: none"><li>・Dr指示なし・該当者なし</li><li>・現時点で必要とする子はいないが必要となった際はいつでも対応できるよう体制を整えていく</li></ul>	
50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		<ul style="list-style-type: none"><li>・定期的に見直しや訓練を実施している</li><li>・必要に応じて修正や改善していく</li></ul>	
51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5		<ul style="list-style-type: none"><li>・定期的に見直しや訓練を実施している</li><li>・必要に応じて修正や改善していく</li></ul>	
52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4		<ul style="list-style-type: none"><li>・事例なし</li><li>・事例があった際は各職員でヒヤリハットの記入をし、ミーティングで周知、再発帽子に向け検討している</li><li>・ヒヤリハットがないよう、日々のミーティングにて注意喚起を実施</li></ul>	
53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		<ul style="list-style-type: none"><li>・定期的な研修や委員会を通して常に意識できるよう努めている</li><li>・日々のミーティングにて注意喚起を実施</li></ul>	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5		<ul style="list-style-type: none"><li>・事業所として身体拘束は実施しない方向にあるが、やむを得ない場合が想定される児童に関しては、保護者様へ説明し了解を得るようにする</li></ul>	